






長野県立信州医療センターだより

# かがやき

第31号

-  病院長就任のごあいさつ
-  新転任医師の紹介
-  外科ってどんな病気を診るの？
-  対策型胃内視鏡検診を受けましょう
-  外来診療担当医表



新院長と新転任職員（屋上で）

私たちは、患者中心のチーム医療を実践し、信頼される病院を目指します。



病院だより「かがやき」に関してご意見をお聞かせください！

スマートフォンで左記QRコードを読み取り、アンケートにご協力ください。  
いただいたご意見は、広報誌等の情報発信の参考とさせていただきます。



地方独立行政法人 長野県立病院機構

長野県立信州医療センター



## 病院長就任のごあいさつ

病院長 坂口 幸治

須高地区の皆様には、日頃より当院の運営にご支援・ご協力いただき、ありがとうございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

私は、2026年4月より長野県立信州医療センター院長を拝命致しました。2007年長野県立須坂病院に赴任致しまして早19年が経過しようとしております。その間にいくつかの大きな震災が起こり、「コロナ禍」と呼ばれる時代となり、世の中が大きく様変わりして参りました。当センターに赴任して地域の皆様に高度で適切な医療を提供すべくその使命と役割を担って参りましたが、更にこのような重責を担う立場となり、いっそう身が引き締まる思いでおります。

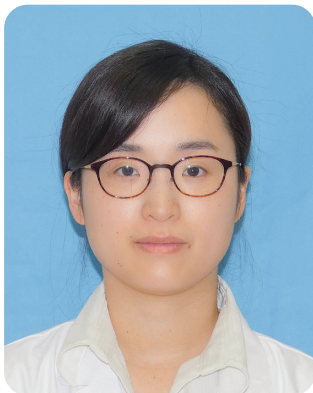
一方、人口減少は思いのほか進んでいます。2025年現在、須高地区で65,000人弱の人口が、2040年には53,000人にまで減ると予想されます。しかし、65歳以上の人口は、22,000人から2040年には21,000人なので思いのほか減少していないと予想されています。つまり須高地域では、医療対象人口はあまり変化しないのに、若い医療・介護の担い手は明らかに減っていきます。『2040年問題』を展望した新体制構築を見据えて、2024年から国の第8次医療計画がスタートしています。当院はこれまで地域の基幹病院として、急性期医療を主軸に回復期、退院支援、さらに健診や訪問診療、産科医療と、総合的な診療を行って参りました。地域の基幹病院としての重要性は今後も変わらないと考えており、地域に根差した医療を行って参ります。

しかし、人口減少・高齢化は差し迫った喫緊の課題であり、刻々と変化していく医療ニーズに素早く対応し、医療機関の機能分化や連携を進めていく事がとても重要になっていきます。恐らく専門診療科を数多くそろえるのは困難であり、総合診療科のようないわゆる「なんでも屋」が必要になってくることでしょう。働き方改革やDX推進も合わせ、効率よく緻密な医療を展開していくには、「集約と再編」へのパラダイムシフトが求められていきます。

また、少ない医療人で多くの方々を診ていくには、行政、福祉施設、介護施設とも連絡を密にし、積極的に取り組んでいく必要があります。その中心にあることは当センターの責務です。私たちはそのための改善や努力は惜しみません。患者さん、ご家族をはじめ、地域住民の皆様のご理解があってこそ、良い医療が提供できると考えています。

信頼される医療を提供するために、「患者さん中心の医療の実践」を心がけ、当センター職員一丸となって努力し、医療の質の向上に努めてまいります。今後ともご支援・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

## 新転任医師を紹介します



呼吸器内科 みながわ あゆみ 皆川 鮎海 医師

- 専門の中で特に力を入れていること  
呼吸器内科全般
- 地域の皆さんへ一言  
患者さんに寄り添った医療ができるように努めてまいります。  
よろしくお願いいたします。



産婦人科 おおつき こうすけ 大月 公介 医師

- 専門の中で特に力を入れていること  
妊娠・出産の安全管理と、女性のライフステージに寄り添った  
きめ細やかな医療の提供に力を入れています。
- 地域の皆さんへ一言  
安心して受診できる身近な存在として、皆さんの健康を丁寧に支えてい  
きたいと考えています。宜しくお願いします。

## 今年度入職した初期研修医を紹介します

当院スタッフと一緒に立ち会うことがあります。  
皆さんの温かいご理解とご協力をお願いいたします。



よしだ はるき 吉田 春城 医師

分からないことだらけではありますが、謙虚に学び続け、須高地域の医療に貢献できるよう頑張ります。



ふじもり はやと 藤森 駿斗 医師

地域の皆さんに安心していただける医療を提供できるように精進したいです。



しばた さよこ 柴田 紗代子 医師

青森県出身で、この度初めて長野県に来ました。自然豊かなこの地で、地域の皆さまに信頼される医師を目指して頑張ります！

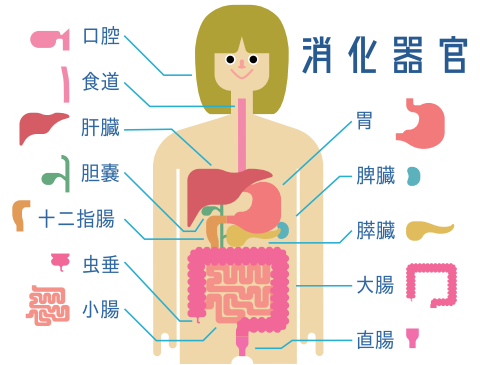
# げか 外科ってどんな病気を診るの？

第一外科部長 久保 直樹

## 手術だけが外科ではありません

「外科」と聞くと、「手術をするところ」や「大きな病気の時に行くところ」というイメージがあるかもしれません。しかし、実際には手術だけでなく、おなかを中心としたさまざまな病気の診断や治療を行っています。代表的な病気には、以下のようなものがあります。

- 虫垂炎（盲腸）
- 胆石（たんせき）や胆のう炎
- 脱腸（だっちょう：鼠径ヘルニア）
- 胃がんや大腸がん
- 痔（じ）や皮膚のできもの



最近では、おなかに小さな傷をつけるだけで済む「腹腔鏡（ふくくうきょう）手術」が普及しています。以前よりも体への負担が少なくなり、早く食事ができたり、入院期間が短くなったりすることもあります。

## 「年のせい」と我慢していませんか？

高齢の方の中には、「年のせいだから」「もう少し様子をみよう」と、受診をためらってしまう方もいらっしゃいます。しかし、高齢になると症状がはっきりと出にくく、気づかないうちに病気が進んでいることがあります。例えば、こんな症状に注意が必要です。

- **胆のう炎**：「なんとなく食欲がない」「胃のあたりが重い」といった、わずかな違和感だけのことがあります。
- **腸閉塞（ちょうへいそく）**：おなかの張りや、便が出にくいといった症状がみられます。
- **大腸がん**：便に血が混じる、体重が減る、貧血になるといったことがきっかけで見つかることがあります。

## 気になる症状があればご相談ください

「これくらいで病院に行ってもいいのかな？」と迷う必要はありません。早めに相談していただくことで、病気が重くなるのを防ぎ、体に優しい治療ができるようになります。

### こんな症状はありませんか

- おなかの痛みが続いている
- おなかが痛くて、熱もある
- 吐き気がする、吐いてしまった
- 便やガスが出にくい
- 便に血が混じっている
- 急に体重が減った、食欲が落ちた

ひとつでも当てはまる場合は、  
早めの受診をおすすめします。



私たち信州医療センター外科は、地域の皆さまが安心して暮らせるよう、近所のクリニック（かかりつけ医）とも協力しながら診療を行っています。気になることがあれば、いつでも気軽にご相談ください。



# 対策型胃内視鏡検診を受けましょう

内視鏡センター顧問 赤松 泰次

## 対策型胃検診とは？

胃検診は市町村や職場が中心となっていく「対策型胃検診（いわゆる集団検診）」と人間ドックなどの個人の判断で行う「任意型胃検診」に大別されます。対策型胃検診のうち、市町村が行っている住民検診は、従来バリウムを用いた胃X線検査によって行われてきましたが、2017年に内視鏡による対策型胃検診が認められ、現在受診者の希望でどちらか一方を選択して行われています。対策型胃内視鏡検診は、50歳以上の方を対象に2年に1回（X線検診は40歳以上で毎年1回）行っています。

## 対策型胃内視鏡検診の流れ

対策型胃内視鏡検診の流れとしては、市町村より胃検診希望の通知が届いたら、同封されている医療施設の一覧表を参考にして電話で予約を取って受診し、内視鏡検査（一次検査）を受けます。撮影した内視鏡写真を消化器内視鏡専門医が二次読影（ダブルチェック）し、最終結果は長野県健康づくり事業団を経て市町村より受診者へ通知されます。

## 内視鏡検診のメリットと受診のすすめ

X線検診に比べて内視鏡検診のメリットは①胃がん（特に早期胃がん）の発見率が高く、胃を切らずに内視鏡治療で治る症例が多いこと、②食道がんがしばしば発見されること、③通常1回の検査で終了すること、などが挙げられます。下表に2025年度までの結果を示していますが、毎年胃がんが発見されています。内視鏡検査が苦手な方は、ご希望によって静脈麻酔を行い眠った状態で検査を受けることが可能です。これまで胃X線検診を受けてきた方や今後新たに胃検診を受ける方は、ぜひ対策型胃内視鏡検診をお薦めします。

## 須高地区での対策型胃内視鏡検診の結果

年度	受診者数(人)	胃がん発見(件)	食道がん発見(件)	その他(悪性リンパ腫)(件)
2018年	995	6	1	0
2019年	720	7	1	0
2020年	710	2	1	1
2021年	717	2	1	1
2022年	839	2	1	0
2023年	823	2	0	0
2024年	938	4	0	0
2025年	856	3	1	0
計	6,598	28 (0.42%)	6 (0.09%)	2 (0.03%)

胃X線検診の発見胃がん率は0.1%

# 長野県立信州医療センター 《 外来診療担当医表 》



(令和8年6月現在)

○午前の受付時間は8時30分～11時30分(自動受付機は7時30分～)  
 ○午後の受付時間は各診療科、曜日により異なりますので、外来担当表にてご確認ください。

診療科		月	火	水	木	金	
総合診療科		鈴木 一史 木畑 穰 荒木 太亮	加藤 修明 櫻井 洸哉	下平 和久 荒木 太亮 荒川 正大	赤松 泰次 加藤 修明	荒木 太亮 交代制	
内科	呼吸器 感染症	午前	小坂 充	山崎 善隆	皆川 鮎海	山崎 善隆 村元 美帆	小坂 充(1・3・5週) 久保 惠嗣(2・4週)
		午後					
	消化器内科	午前	下平 和久	赤松 泰次	三枝 久能	下平 和久	宮島 正行
		午後	植原 啓之	木畑 穰			
	循環器	午前	関 年雅	丸山 隆久	臼井 達也 (長野赤十字病院医師)	関 年雅	丸山 隆久
		午後					
	血液	植松 望武	植松 望武	小泉 正幸		小泉 正幸	
	腎臓		小川 洋平			小川 洋平	
	糖尿病/生活習慣病	小林 永幸	宮本 真吾 (信大医師)		小林 永幸	小林 永幸	
	肝臓				木村 岳史		
	漢方(終日)			布施 修(1・3週)			
	ペースメーカー外来				(交代制・13時30分～)		
	ピロリ菌専門外来	赤松 泰次 (13時30分～)					
	貧血外来		小泉 正幸(14時～)				
脳神経内科(午後)		加藤 修明(14時～)					
海外渡航者外来(午後)		荒木 太亮 (1・3週)				笹澤 裕樹 (4週)	
外科 (午前)	1 診	古澤 徳彦	久保 直樹		久保 直樹	古澤 徳彦	
	2 診			寺田 克	寺田 克		
血管外科(午前)		長野中央病院医師					
呼吸器外科(午前)			坂口 幸治			坂口 幸治	
形成外科					藤田 賢吾(午前) (予約のみ)		
整形外科 (午前)	初診	畑 宏樹	渡邊 憲弥	佐々木 純		信大医師(交代制)	
	予約	三井 勝博	畑 宏樹	渡邊 憲弥	三井 勝博 (股関節・膝関節専門) (紹介・予約のみ) 佐々木 純	畑 宏樹(1・3・5週) 渡邊 憲弥(2・4週)	
脳神経外科(午前)		銭坂 英生(1・3・5週) (新患来院11時まで)	山岸 夢希	山岸 夢希		山岸 夢希	
皮膚科(午前)					信大医師(予約のみ)		
小児科	初診(午前)	櫻井 文佳	南 勇樹	櫻井 文佳	南 勇樹	信大医師	
	予約 (午後)	予防接種	1ヶ月健診	予防接種	小児循環器外来	予防接種	
			7・8ヶ月健診		発達心理外来(初診)		
	慢性外来	慢性外来	慢性外来	慢性外来	慢性外来		
産科	午前	前田 宗久	前田 宗久	大月 公介	堀田 大輔	堀田 大輔	
	午後	堀田 大輔	産後健診(交代制)				
婦人科	午前	堀田 大輔	大月 公介	堀田 大輔	春日 美智子	前田 宗久	
	午後	交代制		前田 宗久	大月 公介	交代制	
泌尿器科	午前	信大医師(交代制)	井川 靖彦(1・3週) (予約のみ)	宮下 大輔 (新患10時まで)	井川 靖彦 (予約のみ)	井川 靖彦 (予約のみ)	
	午後				井川 靖彦(予約のみ)		
眼科	午前	山田 哲也	山田 哲也	山田 哲也	(手術)	山田 哲也	
	午後	山田 哲也 (予約のみ)(13時30分～)	(手術)	山田 哲也 (検査・予約)(13時30分～)		山田 哲也 (予約)(13時30分～)	
耳鼻咽喉科	午前	清水 勝利	清水 勝利 (新患紹介来院11時まで)	清水 勝利	清水 勝利 (新患紹介来院11時まで)		
	午後			清水 勝利 (14時30分～16時30分)			
麻酔科 (ペインクリニック)	午前					清水 俊行	
	午後		清水 俊行				
漢方東洋医学外来(予約制)(午前)			水嶋 丈雄				
精神科(午後)					長峯 清英(2・4週) (予約のみ)(14時～)		

(予約変更専用ダイヤル) TEL 026-246-5550 受付時間 14:00~16:30

内容が変更になる可能性がありますので、最新の情報は次のQRコードの読み取りまたは当院ホームページでご確認ください。

(「信州医療センター 外来診療担当医表」で検索)



長野県立信州医療センター かがやき【第31号】令和8年6月発行 ● 発行所:長野県立信州医療センター【院長 坂口 幸治】 ● 編集所:長野県立信州医療センター ● 広報委員会【委員長 山崎 善隆】 〒382-8577 須坂市大字須坂13-32 TEL(026)245-1650 FAX(026)248-3240